

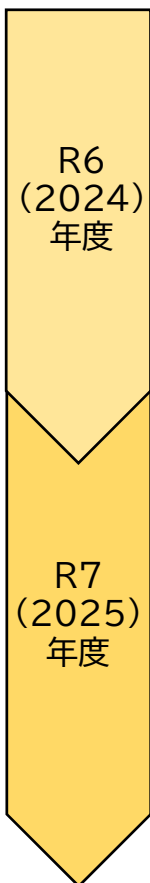
地域クラブ活動環境整備事業

現状	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化の進行により、生徒が減少し、学校部活動として成り立たなくなるおそれのある地域が存在 ● 国は中学校の休日の学校部活動の地域連携及び地域移行を推進（令和5～7年度:改革推進期間）
方針	地域移行の受皿となる地域クラブ活動の充実を図る
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の実情に応じた体制整備 ②指導者の確保及び質の向上 ③関係者(保護者・教員など)の理解 ④地域クラブ活動の運営に要する費用負担 等

対策の柱

I 市町村への支援

II 人材の確保



連絡会議の開催

構成員:県、県教委、市町村、関係団体等

○情報共有

- ・これまでの意見交換会や、実証事業(県教委)で得られた課題等の解決策や支援方策等の情報共有
- ・全市町村を構成員とすることで、成功事例を横展開

○市町村と関係団体のマッチングの場として活用

地域クラブ活動の活性化

指導者掘り起こし等

○人材バンクの充実等

- ・人材バンク(おかやまスポーツナビ、マイニングおかやま)の機能強化
- ・登録勧奨や競技団体の活動状況の把握等

○研修会開催

地域指導者の裾野拡大や、資質向上を図るため、レベル別の研修を実施

<内容>

- ・ハラスメント防止
- ・安全安心な競技環境の整備
- ・コーチング
- ・ジュニア期の指導

地域指導者の裾野拡大

将来にわたり子どもたちが継続して多様なスポーツ・文化に親しむことができる機会の確保